

# エチルベンゼン等・C<sub>8</sub>H<sub>10</sub>

保護具	中毒が発生した時の応急措置	取扱上の注意事項	生ずるおそれのある疾患の種類及び症状
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 適切な呼吸器保護具（有機ガス用防毒マスク）、適切な保護手袋（化学防護手袋）、適切な眼の保護具（側板付き保護メガネ、ゴーグル型）、適切な顔面用の保護具、適切な保護衣（長袖作業衣）を着用すること。</li> <li>○ 飲み込んだ場合 ..直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。</li> <li>○ 皮膚に付着した場合 ..直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。</li> <li>○ 眼に入った場合 ..水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していくと容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診察、手当を受けること。</li> <li>○ 飲み込んだ場合 ..直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 吸入した場合 ..空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診察、手当を受けること。</li> <li>○ 皮膚に付着した場合 ..直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。</li> <li>○ 眼に入った場合 ..水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していくと容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診察、手当を受けること。</li> <li>○ 飲み込んだ場合 ..直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取り扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。</li> <li>○ 設備は密閉系とし、局所排気装置を用いる。</li> <li>○ 防爆型の電気機器・換気装置・照明機器を使用すること。</li> <li>○ 火花を発生させない工具を使用すること。</li> <li>○ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。</li> <li>○ 使用前に使用説明書を入手すること。</li> <li>○ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。</li> <li>○ 粉じん・煙・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。</li> <li>○ 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。</li> <li>○ この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。</li> <li>○ 取り扱い後にはよく手を洗うこと。</li> <li>○ 環境に放出しないこと。</li> <li>○ 充填、取り出し、取扱い時に圧縮空気を使用してはならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 吸入すると有害（咳、咽頭痛、めまい、し眠、頭痛）</li> <li>○ 眼刺激（充血、痛み）</li> <li>○ 発がんのおそれの疑い</li> <li>○ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ</li> <li>○ 呼吸器への刺激のおそれ</li> <li>○ 眠気またはめまいのおそれ</li> <li>○ 長期にわたる、又は反復ばく露による聴覚器、神経系の障害</li> <li>○ 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ</li> <li>○ 水生生物に非常に強い毒性</li> <li>○ 長期継続的影響により水生生物に毒性</li> <li>○ 経口摂取：のどや胸の灼熱感、咳、咽頭痛、めまい、し眠、頭痛</li> </ul>